

ナンスの重要性をつくづく感じました。

### 治療の姿勢

皆さんが来ていただいて治療台に座ると僕たちが椅子を倒していきま  
す。もちろん治療しやすいように。背  
中が倒れるだけでなく、ヘッドレス  
トの角度も駆使して一番治療しやす  
い姿勢を作っていきます。ただ、同じ  
角度にすればみんな同じように見え  
るかというところ、そんなことはありません。



その方の口の  
の開き具合や首の  
角度によって見え  
方は全く違います。  
想像できると思  
いますが、前歯の

治療はほとんど直視できますが、奥  
歯は見える時と見えない時がありま  
す。特に、奥歯の神経の治療をしよう  
とする時は手探り（鏡では確認しま  
す）になってしまうこともよくあり  
ます。もちろん直視できれば作業効  
率は良くなるので皆さんにも協力し  
ていただいて見えやすい姿勢になっ  
ていただきます。

難しいのは、腰が曲がった高齢の  
方です。普通に診療台に座ってしま  
うとヘッドレストに頭がつかま  
せん横に倒す時はクッションなど入れる  
のですが、僕たちからは口の中が見  
えにくい姿勢だったりします。結局  
こちらが腰を曲げてのぞき込むとい  
うこともあります。

訪問診療の現場はさらに困難です。  
治療台もないのでベッドや車椅子上  
で治療させていただくのですが、最

最終的には自分の  
体勢を合わせる  
ようにしていき  
ます。

このようなこ

とは最近少し歯科界でも話題になっ  
ていて、患者さんにも歯科医師にも  
優しい治療姿勢づくりの研究や開発  
が始まっています。とは言え、まだま  
だ考えることがたくさんあると思  
います。その姿勢なら患者さんも歯科  
医師も姿勢が楽という姿勢であつて  
も、それじゃあ上の歯は見えないな  
あというものだったりします。

よく考えると、治療の姿勢につ  
いて学生時代に学んだことはありま  
せんでした。お互いのために治療姿  
勢は大切ですよね。

